

日本物理化学研究会  
創立總會 晩餐會テーブルスピーチ

昭和十二年三月三日午後六時半開會，於京都ホテル

松井元興氏 (京都帝國大學總長，本會々長)  
櫻井鏡二氏 (隱密顧問官，帝國學士院々長，  
本會顧問)  
大久保少將閣下 (第十六師團司令部附)  
山家少將閣下 (海軍火藥廠長，本會商議員)  
石川芳次郎氏 (京都電燈株式會社重役)  
森口繁治氏 (京都商工會議所理事)

田中銀次郎氏 (堺化學工業株式會社々長)  
岩井武俊氏 (大阪毎日新聞社京都支局長)  
松山基範氏 (京都帝國大學理學部長)  
松野吉松氏 (臺北帝國大學教授)  
森總之助氏 (第三高等學校々長)  
大幸勇吉氏 (帝國學士院會員，本會理事)

司會者 堀場常務理事

松井會長 本日，日本物理化学研究会創立總會を開催致しますに就きまして櫻井先生，藤井先生，大幸先生を初めと致しまして皆さん方の御參會を得ましたことは尚に私共としては喜びとする所でありまして厚く御禮を申し上げます。

中には遠い所から應々お出でを願ひましたが，丁度京都は雨天でありまして大變其の點は都合が悪いやうであります。又一方からみますといふと春雨の煙る三十六峰も亦捨て難い所があると思ひます。丁度ゆるゆる京都の春雨の景色を御覽になりましてお慰め出来ると思ひます。私の下手な俳句に斯ういふのがあります。

五風十雨四潭の柳芽ぐみけり

此の春雨の潤ひを得て柳の木が芽だつて其の柔かさを増して行くのであります。日本物理化学研究会が皆様方の御後援の下に丁度柳の芽が萌えて居りますやうに幾久しく繁榮しますことを願ふのであります。此の願を達成する爲には皆様方の非常なる御協力によるより外にないのでありますから日本物理化学研究会の爲に十分の御後援をお願いする次第であります。餘り結構でもない御馳走を差上げてまして恐縮いたしますが，此の會は世界の物理化学研究会であります。日本だけの會のやうであります。其の影には大きな光があると云ふことをお酌取下さいまして何分とも宜しくお願ひ致します。ちよつと御挨拶を申し上げます。(拍手)

司會者 先程は櫻井先生を高い所へお上げしてお叱を蒙りましたが，今度は高い所へ上げませぬから

打解けた話を何かお願ひしたいと思ひます。高い所の話は何處に居つてもお聞き出来ない，況して京都でお話を何ふといふことは餘りないことだと思ひます。

櫻井顧問 只今御指名によりまして立ちましたのでありますが，餘り面白い話も持合せがないのであります。それで面白いお話をすることは御免を蒙りまして私が今度英國へ参ります其の使命に關聯して少しくお話をしてみようと思ふのであります。

今度私の出席する國際會議は萬國學術研究會議といふ名前の會であります。それで此の機關がいつ如何にして出来たものであるかと云ふことに就てちよつとお話致しますと思ひます。丁度ヨーロッパ大戦が千九百十四年に始まりまして千九百十八年の秋まで四年以上を經過したのであります。其の時はロンドンのローナルンサイエネターから我が學士院に案内狀が来たのであります。それは大戦の爲に世界の學者が協力して學術の進歩を圖るといふことが四ヶ年以上に亘つて中絶された。是は學問の進歩の爲に極めて遺憾のことである。どうしてもそれを復活させなければならぬ。而も出来得る限り早くしなければならぬ。如何にして此の學術を復活することが出来るかといふことが其の會議の目的であつたのであります。千九百十八年の夏から秋にかけて私が英國に向つて旅したのですが，印度洋を経て地中海を通る時にはドイツの潛航艇が暴威を逞しうして居りましたので全く危険である。随つてアメリカを経て大西洋を渡つて行かなければならぬのでありまして，話が

横途へ這入りますけれども其の時の大西洋を渡りましたお話を申上げてみまするならば、地中海と同様の危険があつたのであります。それはやはりドイツの潜航艇が数艘大西洋に居りましてニューヨーク附近の所謂ドイツの秘密探偵と密接な關係を取つて居りまして何處の船がニューヨーク附近に来て居るといふことを通信する、さういふ次第でありましたからして私共ニューヨークを出ます時には實に非常な危険があつたのであります。即ち幾日の何時に何といふ船が出る、乗る本人も解らない、さうして漸く出帆の十五分前になりまして初めて我が領事館を経て船の名前の暗號を寄越したのであります。

勿論其の前から荷物は整へて居りまして準備は十分出来て居つたのでありますから直ちに乘つたのであります。さうして夜が明けた頃にはニューヨークの港を離れて大西洋に出て居つたのであります。此の周圍を見ますとフランスへ持つて行くアメリカの兵隊を満載した船が八艘、それに私共特別な少数の旅客とさうして士官が乗つて居ります所の船が一艘加へて九艘の船が一つの艦隊を作つてそれをアメリカ中で最も最近に出来た所の巡洋艦七、八艘、驅逐艦三、四艘、都合十艘餘りの極めてスピードの速い艦に護衛されて行つたのであります。而も航路は普通の時よりも遙かに北を通る、尙ほ上には飛行機が二架ニューヨークから吾々を護衛して行つたのであります。唯其の時の飛行機の續く時間といふものは極めて少かつたのでありますから、出ました日の午後には二架の飛行機はニューヨークに引返したのであります。でありますから翌日は巡洋艦と驅逐艦に護衛されて行つたのであります。リヴァプール近くなりますと英國の方から又スピードの早い艦で迎へて護衛してくれたのであります。吾々はさういふ特別な旅をしたのであります。大西洋を渡る間は夜も寐も起さる時も寝る時も銃を離さないといふ位にして居つたのであります。段々行きますとマストが海の上に頭を出して並んで居る、何であるかといふと沈んだ船のマストである、さういふ特別な旅をしたのであります。餘程氣持の悪い旅であつたのであります。吾々の如くに、如何なる時代如何なる國の帝王と雖も斯様に多數の巡洋艦、驅逐艦をお伴につれて其の上飛行機までをつれて行つた人はないのである、吾々ばかりであるといふことに非常に意を強くして居るのであります。リヴァプ

ールに着いてみまするといふと荷物を頼む男がみんな招集されて戦地に行つて居る。多數の乗客がみんな自分で運んで行つたのであります。普通ならば自動車なり馬車なり深山あるのであります。其の自動車が極めて少数で而も運轉手が戦地へ行くのであります。一番困つたのは泊る宿がない、仕方がありませんから市民の家の開いた部屋を借りて十五畳位の廣い間でありましたが、そこへ六、七人の旅客が宿りました。一流のホテルへ泊るより餘程思ひ出が深かつたのであります。さういふ他の人が經驗することの出来ないやうな珍らしい旅行をしたのであります。それがいつまでも頭にあるのであります。ロンドンに着きましてから、私共の會議は十月であつたと思ひます。各國から集りました数は四十人位でありました。其の會議は各國の學者が如何に國際學術に協力することが出来るかといふことに在つたのであります。それに對してアメリカの代表が案を持つて來たのであります。アメリカから五人來ましたが、その中にはマサチューセツツのインスチテュートの化學科長をして居つたノーマンといふ人も居りました。其のアメリカの持つて來た案といふのは、各國に學術研究會議といふものを設置する、そしてそれを綜合して中央にインターナショナルなるものを作らう。アメリカが其の案を出したのは戦争が始つて間もなく、アメリカは聯合國に加つてゐないのでありますけれども盛んに戦争に對する準備學術を基礎にした所の研究それをやる爲に此の案を出した、獨り戦争のために貢獻を致しましたのみならず戦後續いて學術のために多大の貢獻をしたのであります。此のアメリカの案即ち各國に學術研究會議といふものを設置しそれを綜合するインターナショナルなるものを中央に作らう、といふ大體其の案を承知致しまして私は非常に結構な案である、是非とも是は設立させたい、一面に於ては各國各々國內の研究をし其の研究を成べく統一する、一面に於ては國際的協力に力を盡す、所が各國の代表者の間に於て其の間幹部が色々非難を受けられたのであります。戦争の爲に多大の國費を費して居る、其の上に更に學術研究會議を設立する、其の維持に相當の金を要して支へられない。寧ろ既設の學士院さういふやうな機關を以て大いにやるがよい、斯ういふ意見が相當強くあつたのであります。私は非常に出しやばりまして、先づ第一に各國が揃つて學術研究會

議を作る必要はないぢやないか、出来る處はやるし出来ない處はやらぬ、外の機關を作る、さういふ風な修正案を出して其の修正案が全會一致で通過したのであります。それが今日の學術研究會議であります。其の結果我が國に學術研究會議といふものが出来たのであります。今回私の参りますのは中央の萬國學術研究會議の總會であります。是まではブラッセルで開かれたのであります。今回は生れた場所のロンドンで開くことになりました。今度はドイツからも相當な學者が参ると思ひます。此の學術研究會議の出来ますに就いて前に私が行きました點から今度は是非行つてみたいといふ希望を有つて居つたのであります。さうして我が國に於きましては誰も行き手がなかつたのであります。已むを得ずあ自分としてはロンドンには留學したことがあり第二の故郷のやうで随つて古い友達もありますから尙更自分も行きたいといふことになりまして今回行くことになつたのであります。是が今回私が参ります萬國學術研究會議の出来であります。

そこで先刻申しました餘談の分ですが、私共がロンドンに着きましてからローヤルソサエティ主催の會議の開かれるまでには相當の日數がある。其の前に是非とも英國の軍需工場を見たい、戦争のために英國は新しい軍需工業方面に關する工場が多數起つた。そこで私は英國の軍需工場を見たい、けれども戦争中のことでもあります。又殊に外國人に大事な秘密の軍需工場を見せるといふことは思ひもよらぬが併し見たいと思ひまして、昔から大變親しくして居りました所のアームズ卿といふ化學の老大家、息子さんも有名な學者であります。其の人はもう九十を越えて居るかと思ひます。けれども學界の長老として、其の人に相談して、随分無茶な希望ですが軍需工業の視察をしたいといひました。所が戦争の結果軍事省といふものが出来て其の中に煤業のデパートメントがある。其の煤業の長をして居られるトムソンと極く懇意であつたのでそこでアームスはトムソンに話をしてくれた。それから三四日経つて日は覺えて居りませぬが、何日の何時に、午後一時だつたと思ひますが、其の俱樂部で食事をしたいからお出で下さい斯ういふ意味の手紙が参りました。それでよしといふ承諾の返事を書いたのであります。それでアームスとトムソンと私の三人きり一つのテーブルで食事をした。食事の間は世間の話ばかり、さ

うして食事が終つて煙草をふかしながら、彼れ曰く「あなたは軍事工業を御視察したいといふのですか。さうですか。」「さうです、どうかお願い致します。」「それでは宜しうございます。」私は是には驚いた。此の場合に言ふべき言葉もなんにもない。それが容易く「宜しい」、そして別の部屋に居りました秘書官を呼んでそして私を紹介致します。「此の方が軍事工業の視察をしたい」、そして案内してくれた。行つてみますと技師の人が隠す所がない、私は解らぬ所がありましたから質問を度々致しましたがそれに答へられてちつとも隠す所がありません。是には實に驚いた。一番驚いたものは毒瓦斯の製造は主なるもの、もう一つ戦争の時に男子は皆兵隊として戦地に行つて居ります。職工も全部女、獨り工場の職工ばかりでない、市民は大部分は女、それが毒瓦斯であるとか非常に危険がある仕事に女を使つたが爲に能率が男の場合よりもよかつた。そして怪我が少ない、是には實に敬服を致しました。英國人の太つ腹と云ひますか實に敬服したのであります。今度参りまして其の當時の秘書官に會うたらお禮を申し上げたいと思ひます。

尙ほもう一つ、是も餘談であります。戦争中のことでありまして、それは先程申しました通り男はみんな戦地に行つて居るので相當な家庭の奥さんも娘さんも男の代りをしてゐる。是れ亦面白い話ですが、マンチエスターの大學の物理學者にロンドンで招かれて、其の時に驚いたのは、其の人の總領の娘さんであります。握つた所が女の手でない男の手である。而も労働者の手である。どうしたかと云つたらば自分は家から毎朝暗い中にロンドンの中央郵便局へ自轉車に乗つて行くさうして中央郵便局から配達される大きな郵便物を荷馬車に積んで其の娘さんが手に鞭を持つて毎日運んで居る。其の爲に手が堅くなつて居る、是は一例ですが、さういふ相當の家庭の細君も娘さんも戦争のために斯様に盡して居る著名な事實であります。斯ういふことはいつまで経つても忘れることが出来ない、大變どうも詰らない、お話を致しましたけれども。(拍手)

司會者 次は十六師團の大久保少將閣下にお願ひいたします。

大久保少將 それでは私達がお喋りをする御會合ではないと承知を致しましたが、御指名がありましたので已むを得ずお話をすることに致します。

此の度は我が日本に於きます所の此の方面の權威の方々が集まられて日本物理化学研究會をお作りになりました、本日其の創設の總會をお開きになりましたことは我が帝國の將來の爲に非常に喜ばしきことと思ひます、殊に私達軍部に勤めて居ります者は此の物理化学を非常に大事に考へて居りますが故に更に深甚なる祝意を表する次第でございます。現今に於きます各國の狀態は國家意識に標準を置いて居りまして各々の國家が躍進をすればする程お互が其の摩擦を大にしつゝあるやうな狀態であります。而して嘗て私共が戦争といふものは干戈を取つて相争ふものであるといふやうに考へて居りましたものが今や其の定義を變更致しまして、政治なり、思想なり經濟なりの争を開始して國家的に恰も干戈を執つて争ふと同じやうな効果を發揮しつゝあるのであります。而して現代に於きましては此の争の勝敗を支配します第一に化學の力があるといふことを私は從來の経路が其の方面を歩いて居りますし特に感じて居る次第であります。而うして又其の中で物理化学に屬する部門も亦相當にあると感じて居ります。是等の優越が盡て我が帝國の發展を力づけるものであると考へて居るのであります。而して又平時の斯う云ふ國力の争以外に所謂干戈を執つて相争へるといふやうな時に當りましても此の化學の力は非常に利用されて居ります。而も此の物理化学の部門も亦相當に利用されて居ります。現代各國の軍備はお互に進歩を致しまして可なり相似よつて居ります。若干の高下はありますが、此の現代のお互の裝備を以てお互に相争ふといふことは結局効果がそれ程大でなく又犠牲も相當に大きいといふことを覺悟しなければならぬのであります。此の時科學方面に於きまして嘗て歐洲大戰の初期に當つて英國が沙漠で使ふと云ふタンクを秘密に拵へて居りましたが世上に出て奇想天外のものとなつた、即ち意想の外に出るといふことが即ち今後の争の最も效果的にさうして最も犠牲を少くして勝を制する所以であると思へて居るのであります。現代では最早各國の毒瓦斯が此の次の戦にはあの程度で済むであらうか、否目下持つて居ります毒瓦斯マスクではもはや防ぎ得ない所の新しい毒瓦斯が出来るではなからうか又最近考へて居りますのは次の戦には醫術の方面に大なるお力を願はなければならぬやうな細菌戦即ちバクテリアをばらまくといふやうな

ことが相當に研究されて居るやうに考へて居ります此の場合に大いに化學的の方面の研究を積んで戴きまして之を好みは致しませぬが、他から強ひられた場合に自分の國が滅亡しないやうに防ぐ爲、我が民族が發展する爲、戦さに勝つためには斯ういふ覺悟が必要かと考へます。かゝるが故に此の度日本物理化学研究會の設けられましたことは私達は、特に一般國民として又軍部に勤めて居ります關係に於きましても其の御發展を願ひしてやまぬ次第でございます。どうか皆様方の御研究によりまして、吾々の陸軍部内にも似たやうな研究はして居りますが、更に澤山の研究家の方々のお集りによつてより以上の研究をして戴きまして我が國家の發展に資して戦きたいと思ふ次第でございます。甚だ詰らないことを申しましたが、之を以て責を塞ぐことに致します。(拍手)

司會者 次は海軍の火藥廠長の山家少將閣下にお願いたします。

山家少將 向に僭越でございますが御指名によりましてお話しして戴きます。技術者の間に於きまして非常に發明考案とか能率増進といふことが此の頃ばかりでなく前から明へられて居ります、私共工業技術者の中には工場の能率増進といふことのみが工業を進歩させるかの如くに考へて居る所もないではないのであります。是等の方法は勿論工業を進歩させる或は發展させる方法であるかも知れませぬけれども是等は皆消極的な話でありまして積極的に工業を進展させる爲にはやはり發明考案による技術の進歩といふこと以外には途はないと思ふのでございます。是等の進歩をさせる爲には物理化学の研究に俟たなければならぬことはもう申すまでもないことであります。御承知の通り日本の國は資源に恵まれて居りませぬ、是等の資源の不足を補ふ爲にはどうしても化學工業の發展に俟たなければならぬことは勿論であります、殊に戦時に於きまして最も多量に要るものは彈藥或は燃料といふやうな化學的の材料が非常に多いのであります。斯う云ふ見地から致しまして私共海軍に於きまして化學工業に携つて居るのでございますが目下の日本の化學工業の發展に對しては國家の爲非常に喜ばしく感じてゐる次第であります。海軍に於きましても是等の化學工業の進歩に連れまして新らしく出来ました工業を精々直接間接に軍事工業に役立たさなければならぬとい

ふことに對しては常々研究して居るのであります。又現在工業的に成立しないやうな工業でも或は直接間接の方法を以て援助獎勵はして居る積りであり従来も其の方針を執つて居るのであります。それと同時に又工業技術者或は化學を研究される方々と直接間接お互に研究をして行かうといふことに對しては前から考へて居る次第であります。例へば櫻井先生が外國の物理化學のことに就てお話になりましたが私も歐州戦争の初から殆ど終まで英國及歐州に居りまして其の事情を嘗に體驗致しました。海軍に於きましても是等と連絡協調、進んではプレートラストといふ所まで進みたいといふ考を當局は有つて居られることと承知して居ります。さういふ意味に於きまして此日本物理化學研究會といふものが出来ましたことは洵に結構なこととございまして、此の頃或の一部の方の御意見では研究する機關を綜合統一するといふやうな意見であります。幾ら深山の學者が一つの部屋に這入つて居つてもお互の連絡がなければ事務的の綜合ではなんにもならないと思ふのであります。今日のやうに物理化學を研究せられる各位が一堂にお集りになつて而も此の學界の趣旨に基いて仕事をされるといふことが非常に意義あることと思ふのでございます。先程堀場先生のお話にございました、ハーバー博士の下に私等も或る關係で寄せて戴く機會を得ましたが、其の時に其の中のどなたでありましたか忘れましたが、ハーバー博士に日本に於て將來化學工業が進歩するかどうかといふことを質問されたことがございます。其の時にハーバー博士はそれに答へて、日本に於ては化學工業は進歩しないと思ふと申されました。其の理由はどうかといへば日本に於ては鐵工業が發達しない、鐵工業が花であり化學工業が實であるから鐵工業が發達しなければ自分は恐らく化學工業は進歩しないだらうといふことを言はれたのであります。ハーバー博士が今一度生きかへられて日本を御覽になりましたならば恐らくは認識をかへられて化學工業が進歩しなければ工業が發達しないといふことを考へられると思ひます。斯うした意味から今日新しく日本物理化學研究會が出来たことを洵に心から慶賀致す次第であります。(拍手)

司會者 次は京都電燈株式會社の重役石川さんにお願ひ致します。

石川氏 僥越であります、學界の最高權威大先

望の精羅星の如く居並ぶ中で御指名戴きまして恐縮致します。今日は日本物理化學研究會の創立祝賀會であります、此の會にお招きを頂きまして洵に光榮に存じて居る次第でありまして此の會の益々御發展せられん事を祈る次第であります。先程から色々お話がありました如く吾が日本で近頃非常時といふ言葉が盛んに使はれて居りますが、就中最近は最も非常時のやうに思はれます。其の最近の狀勢からみまするといふと私共素人で解りませぬが、國防と云ふ問題は最も重要な一つと痛感致して居ります。所で此の國防に就て私共が多少關係してゐる技術の方面から見ますと、爆發であるとか燃焼であるとか云ふ所謂技術的要素を有つて居る軍備の充實と云ふことに對して力を入れることが最重要な喫緊事である、又事實技術工業の進歩より外にない、所で技術工業は是まで複製模倣の工業でありましたが今や一人立ちにならざるを得ないのでありまして、又なりかけて來たのであります、學術的研究に基礎がなければ恰も砂上の樓閣のやうでありまして之では技術の確立を得られないのぢやないかといふことが考へられます。又經濟的に見ても天然資源は極めて貧弱であります、人間の能力によりまして所謂人的資源によりまして富を作り出すより仕方がない、所謂無より有を生ずる。此の力は取も直さず學術の研究にある。我が日本の生きる途は實に只今は學術的研究といふことによるより他に途はなからうと信ずる研のであります此の時に當り此の京都に於きまして日本物理化學研究會が生まれまして堀場博士を有りましたことは我が京都大學の名譽でもあり此の京都市の光榮でもある、市民として感謝に堪へぬのであります、洵に此の御計畫はタイムリーヒットであると信ずるのであります。今後益々成果を收めて我が國のみならず世界に貢獻せられんことを希望して止まない次第であります。洵にくだらぬことを申しましたが、之を以てお祝ひの言葉とする次第であります。(拍手)

司會者 次は京都商工會議所理事森口さん

森口氏 お話を色々承つて居りまして感慨無量であります。私は戦争の済みましてから後でヨーロッパに参りまして大戦後の慘況を嘗に見て参りました。で人類が戦争する程様々な馬鹿なことはあるまいといふことを考へて歸つたのであります、それから次に千九百三十二年に再びヨーロッパへ参りました

たが其の時の形勢は非常に變つて居つたのでありましてもう一底戦争が起るであらうといふ豫感を強く感じたのであります。前の時に私はまだ革命後のソヴェットを見る事が出来ませんでした。次に参りました時にはソヴェットを見る事が出来たのであります。吾々は只今御紹介に相成りましたやうに商工會議所に勤めて居りまする爲やはり社會科學的に物を見る癖があります。社會科學的に見ますといふと吾等の見まする事象は三十年に一遍か或は五十年に一遍か極めて僅かの機会しか與へられないのであります。始終實驗をおやりになる事が出来る自然科學の方面の方々に對しては吾々は羨望に堪へないのであります。丁度ナポレオンがフランスを統一致しましてから更にウオーターローで敗れまして千八百十五年に通リヨーロッパが片づきましてから世界戦争の終るまでの間が約一世紀であります。其の間色々な意味に於きまして同じやうなことを人間は再び繰返して居るやうに私達の眼には缺つて居ります。先年ソヴェットに参りました時にソヴェットの學者がやつて居ります所も、資本主義と稱せられて居りまする吾々のやつて居りまする所も非常に共通點のあることを強く感じたのであります。で、其の時に痛感致しましたのは社會科學の將來は自然科學と同じやうに一つのものになつて行くのではないかと思ふのであります。是も同じやうな共通の學問的の基礎に發展して行くのではないかと思ふのであります。私は斯ういふ學會が生れまして此の學會によつて種々のインヴェンションが行はれる、それが人類に及ぼして來る所の影響は蓋し思ひ半ばに過ぎるものがあらうと考へて居るのであります。是までは戦争が新たなる武器を作り、新たなる武器が戦争を作りそれを繰返して参つたのであります。今日未だその時代は續いて居るかの如く考へられます。斯様な歴史を人間は繰返すのであります。併し乍ら人間が是までの生活に於きまして戦争に替はる方法を發明して居ります。それは投票によりまして決定する方法であります。甲乙意見を決定することが出来ない場合に投票によつて決定するといふ方法を人類のインヴェンションの中に有つて居るのであります。是は社會科學に於きましては非常に尊い一つの發見であります。恐くは、私不幸にしまして自然科學の方面の發達がどの程度に進歩致して居りまするか、甚だ残念ながら十分に存じないのであります

が、將來は恐く社會科學、自然科學といふものが一つになり両者が合致しまして一つの理想を以て進むやうな社會が建設せられる時機が來るだらうと思つて居ります。それまでは恐らく凡ゆる人間の努力が拂はれることと存じます。此の學會は其の道に於ける非常に重要な貢獻をされる會と存しまして今後の發展を祈りまして御祝詞に代へる次第であります(拍手)

司會者 では次に塚化學工業株式會社の田中さんにお願ひいたします。

田中氏 私御指名を受けましたが皆さんの前で物理化學方面のお話をするには少し時代後れの人間でございますから出来ませぬ、少し脱線致しますからお許を願ひまして、此處に御本人が居られますのに私が申上げては甚だ恐入るのでございますが、今回の此の物理化學研究會に大きな御寄附をなされた藤井さんのお話をさして戴きたいと存じます、私は此の功成り名遂げてさうして今日思ふ通りの御生活をなすつてゐらつしやる此の藤井さんの今までの御奮闘史を知つて居る方の中で私は其の一人であると云ふことを申し上げたいのでございますが、藤井さんは御承知でもございますが、高峰博士の命命でいらつしやいます。併し藤井さんが今日の成功をなされたといふことに就て高峯博士から何か物質的の御援助があつたといふ風にお聞きの方があるかも知れませぬが、左様でないといふことを私は御本人から承はり又本當に藤井さん御自身は、失禮でございますが、裸一貫から今日の御成功をせられた其の御経験を私はよく存じて居るのであります。確か藤井さんが藤井製藥會社といふものをお拵へになつたのは明治二十五六年頃かと存じます。丁度其の時分に私も小さな製藥所を營んで居りました。私と高峰博士も交際を願つた。其の時から藤井さんに御厚情を願ひ又或る時は手を掛り或る時は喧嘩も致しましたのでよく存じて居りますが、藤井さんが確か製藥所をお拵へになつた時取クロム酸加里的製造を創められたと思ひます。之を日本に於て創められたのは確に藤井さんだつたと思ひます。それが明治二十五六年か或はちよつと前であつたか吾々一般製藥工業の中でも一番難しいと思つて居つた事でありまして、それから幾多の工業藥品に手を着けられて、甚だ失禮でございますが最初或る時には二、三人助手をお使ひになつて御自身が職工の二、三倍も働いて居られた

といふこともよく知つて居ります、さういふ奮闘をなすつてさうして工業用の薬品を拵へ、それから段々御成功になつて尚に平坦な道をお歩きになつたやうに思はれるかも知れませぬが却々さうでないのでありまして、一つの奮闘史を綴ることが出来ようと思ひます 其の後段々御成功になり藤井化学工業の工場にそれから東京硫酸會社の専務取締役になられ又藤井セロハンの大きな工場を造られました。さうして終に功成り名を遂げて、今回此の日本物理化学研究會に多大な御寄附をなすつた。實に此の藤井さんの御一生は一つの奮闘史であり一つの化学工業藥品の歴史のステージを飾ることも出来るかと思ひます。私は此處に皆さん方春秋に富むお方前途御多幸の方のみらつしやることをお見受け致しますが、藤井さんの御一生を御記憶なさることが、義務と存じまして脱線したお話をさして載せましたのであります。(拍手)

司會者 次は大阪毎日新聞社京都支局長の岩井さんにお願ひします。

岩井氏 本日は我が全日本の物理化学界の權威の方々の御列席の席上にお招きに預りましたことは私の最も光榮とする所でございます。又御指名戴きましたことは多少名譽に考へます次第であります。大體此の日本といふやうな名前のつきます學會といふものはやはり學問の中央集權と申しますか東京に於てのみ結成されるのでありまして、未だ曾て京都で斯ういふ大きい日本物理化学研究會といふやうな學會が結成されたことは耳に致さないものであります。此の意味に於きまして恐く京都に於いて日本と大きい名の冠した學會は是が初めての結成だと信じて本會の設立は衷心慶賀に堪へない次第であります。私新聞記者を致して居りますが新聞の仕事は勿論日々社會に起りました出来事を報道するといふことが最も新聞の大きい仕事でありますけれども其の仕事の中に學者と、そして俗人と申しまするか一般世間と申しまするか、その中に立つて學者の研究されたことを最も通俗に一般民衆に、一般世間に傳へることも亦新聞記者の一つの大きな仕事でないかと私は考へそれを専ら心がけたいと思ひまして新聞記者になつたやうな次第であります。不幸にして私無學であり時に志と違ひまして折角諸先生方から承つた所を十分に書き表はせなかつたり、或は針小棒大に書いたり酷い時には事實を間違へて報道したりし

て先生方からお叱りを受けたこともないではありません、是は慚愧に堪へないのでありますけれども是は私共の志す所がそれ程猛烈であつたのでありまして其の點をお酌取下さいまして今まで犯しました一種の罪惡を此の際御助辨願ひたいと此の機會を以ちましてお願ひ致します。そんな意味でございますので私共は出来るだけ先生方を悪く申せば利用致したいと思つて居るのであります。かるが故に此の度堀場先生の御發起で藤井先生の御寄附御希望によりまして斯ういふ結構な學會が出来ますに就きまして、堀場先生からお手紙を戴きました是は世間に吹聴すべきことだと信じて早連堀場先生のされて居ることを新聞記事に書きました所が先生は大變お喜び下さいまして公開の席上でも私もまあ新聞に宣傳してくれたといふお禮のやうなことをお洩し下されたやうに承つて居ります又今日斯うしてお招きを戴きましたことも恐らく新聞に書きましたことによつてお招きを戴いたと思つて居ります(笑聲) そんな譯でございますのでどうぞ先生方も私達を御利用願ひたい、新聞といふものをもう少し御利用願ひたいといふことをお願ひして置きます。京都の會社の名前はちよつと忘れましたが小野茂平さんがおゐでになり辯護士の川上さんがおゐでになり斯ういふ方々が先程お話を居られましたが、堀場先生は謙遜されて遠慮深くどうもはつきり言つて戴けない、斯ういふお話どんなことか存じませんが恐らくもう少し寄附をしてくれといふことをはつきり仰しやつて戴けないことだらうと私は察するのでありますがこゝらあたりの連中は何とかしてさういふいふこと結構な事柄に對して助力をしたいとようよして居る人であります。どうぞ御遠慮なく先程のお話の中に百萬圓あればどうやら、斯うやら出来るといふお話があつたとそれは只今小野さんから承つたのでありますが、餘計は言はぬ百萬圓、どうぞ此の心持で御遠慮なく皆さんに仰せつけられて皆さん御寄附下されば益々此の學會が発達して行くことは決して疑ないのであります。私は斯ういふ譯柄からして日本物理化学研究會の創立に滿腔の敬意を表して、それと同時に八十歳の御老親をお携げになつて遠く日本學會の爲に萬里の波濤をお越えになつてヨーロッパに御出張にならせらるる櫻井先生に對しまして一路の御平安を祈ることは勿論、日本の物理化学界の發達其のものやうな先生が世界の學會の席上に御顔

をお出しになることだけでも日本學會の光輝といふものが世界に光り輝くものであるといふことを確信して疑はないのであります。どうぞ御老體を勞はらせ給うて御健康でお歸の日を吾々はお待ち申して居ります次第であります。甚だ卒爾なことを申しまして相済みませぬ。(拍手)

**司會者** 自分が或る席上で申しましたが大變心臓が弱くなって居りますのでほんの百萬圓でよろしいそれ以上は言ひませぬ...どうぞよろしく。(拍手)

次に松山博士

**松山氏** 先づ今日日本物理化学研究會が成立しました其の最も恩人である藤井先生、櫻井先生に對しまして私共堀場君の同僚として厚く御禮を申し上げます次第であります。さうして此の會が益々發展して行くやうに、さうして併せて百萬圓の資金を直ちに得られるやうに堀場君の爲に前途を觀顧する次第であります。

今から大分前に私は滿洲に參りました機會に或る工業の専門の大學に參りまして私の致して居る仕事のことについて口がにりました。私のやつて居りますことは一向金儲に縁の遠いことでありまして却々百萬圓をお出し下さいと申しまして私の仕事のためにお出し下さる方は到底ない。斯う思ふのであります。又一面にはさういふ學問が日本の爲に必要であるといふことを少し法螺を吹いた譯であります。其の時色々のことを申し上げました中に私は大體此の日本の爲になるといふ意味はせまい意味にも廣い意味にも取れるのであるが、直接に爲になることを研究して之を進めて行くといふことは勿論必要である。と同時に爲になるかならぬか解らぬけれども學問其のものを進めて行くといふことが又一面には必要である。今それをやつたならば斯ういふ役に立つといふやうな學問は實用にはなるが先が知れて居る。何が出来るか解らぬものから將來飛んでもない大きいことが出来て来るのであります。今までの多くのものの初を考へますと出来上つてみれば成程と言ひますけれども其の本を考へれば、例へば電氣の發見當時のことと今日の電氣事業といふものと比較して思ひ當ることがあるべきであるといふやうなことを申しまして、私共が理學部に在つて純粹の學問をして居るといふことに就てちよつと申し上げたのであります。それが済みますといふと其の席に居られました吾々の大先輩の方が私の肩を叩いて「君

はどうも臨病の様だが大きな法螺を吹いたね、先が知れてゐると云つて」と言つてひやかされました今日成立しました所の日本物理化学研究會に於きましては私の餘解致します所によりますれば恐く勿論直ちに役に立つ將來國家の爲に斯くすれば斯く斯くの用をなすといふことも御注意になるでありませうが、同時に此の基本になる所の物理化学の根柢に就て御研究をお進めになりまして將來其の中から今日思ひもよらないものが出て來るといふことを期待致しまして、是は先程お話の中に「人物を中心にする」といふやうなお話がありましたやうに、堀場君を中心にし、さういふやうな今見えて居ることが具體的になると同時に一層今日豫めも出来ないやうな大きな貢獻を其の中に私は期待致してみたいのであります。先程大久保少將閣下が今日の毒ガスでも或はタンクでも思ひもよらぬやうなものが次の戦争には出て來るかも知れないといふお話が出ましたが、其の意味を戦争といふことでなしに學問の上に持つて來まし、さういふ方に發展の途が開けて行くことを私の立場として希望して已まない次第であります。燕辭でありましたが之を以て私のお祝の言葉に代へる次第であります。(拍手)

**司會者** 次は遙々臺灣から見えました松野さんにお願ひいたします。

**松野氏** 私が臺灣から來なかつたら恐らく御指名がなかつたと思ひます。應々遠方から來たといふので御指名があつたと思ひますが實は私喜んで參りました、大變邊鄙な處に居りまして、此の度日本物理化学研究會といふものが結成せられることになりまして、此の會に列らして戴き専門の諸先生方にお目にかゝり、又私共の尊敬する恩師櫻井先生がヨーロッパへお出でになる途にお目にかゝることの出来る機會をお興へ下さいましたことを有難く感謝致します。

所で色々皆さん方から非常に有益なお話をお聴き致しまして私の如き弱輩が別に申上げる事はないのであります。日本物理化学界の大御所であつた故池田博士が常に仰せられた所の、是は東京帝大理學部の雜誌に鯉島博士が「池田先生の思出」と題し池田先生の愛唱せられた論語の句に「學而不思則罔、思而不學則殆」があります。之は古今に通ずるよいお言葉と思ひます。池田先生の還曆の御祝が東京上野の精養軒で催されたとき先生の曰く「理科大學(今

日の帝大理學部)の教職にあるものは金儲を第一義にする研究には出来るだけ携はらないで戴き度い、私は親が貧乏したも故過つて金儲に手を出し、「味の素」の發明者など、世間にちやほや云はれるのは心苦しく思ふ」と。

堀場博士は豫ねがね私共尊敬してゐる學者でありますが博士の研究態度其の他の御様子を拜見いたして居りますと池田先生の御考へその通りを如實に實行せられた様な感が致します、其の上藤井先輩の援助あり日本物理化学研究會の爲に百萬圓位基金が欲しいとの御言葉であるが、之は恐らく近い將來に必ず實現するものと信じます。十八年前ロンドンで堀場さんにお目にかかりロンドン大學のニューアシナイ、コレツヂの理論化学教室に其後三ヶ年親しく指導を受けた先生から其教室の研究報告を年々數回送つて戴いて居りますので、其の中に次の様な教訓があります、今晚は吾々よりもお若い方も澤山御出になりませ故御話し致します。

「男子四十歳位にして化学工業に携はる者が會社の重役とか技師長とか研究所の所長とかになるのは勿論運もあることながら所謂出世の要諦は次の六ヶ條に在る様である」

#### Ordinance of Industrial Chemistry

- (1) Keep physically fit.
- (2) Keep intellectually fit, by reading pure science.
- (3) Keep imaginatively fit, by reading good literature of an imaginative characters.
- (4) Don't stop thinking.
- (5) Don't stop imagining.
- (6) Cultivate pleasant and agreeable manners.

私共の物理化学の先生が識される處實に洋の東西を問はず全く同一であります。この事も何處かで放送しようと思つて居りましたが斯くの如き良い場所で其機會を與へて下さいました堀場博士に感謝致します。皆様失禮致しました。(拍手)

司會者 色々とお話を承りたいと思ひますがもう定期九時近くなりまして、最後に第三高等學校長の森先生にお願いいたします。

森氏 私は堀場博士から御案内を戴きまして、堀場教授が三高に居られたといふ關係上、又昨日午前中堀場研究室の御發装がありましてその中三人も教へ子が出てゐた事等思ひ合せて實に欣快に堪えぬ次第であります。初て私の言はんとする所は殆んど皆さんが言はれたのであります、唯一つ感想を申し上げますと、先程總會の演説に松井總長の言はれた

やうに、今日は進んでゐるやうに見えるけれども、是は進んで居るやうであつて基礎的學問に於てはまだ端緒にも充分行つてゐないやうであります。ノーベル賞は大體各國の學術の進歩を示すものでありますドイツが二十回を超へ其の他イギリス、米國と行つて、東洋に於ては日本はゼロであります。印度にもあります。此の點に於ては日本は印度にも劣つて居ります。是は大體一國の誇を示すものならば日本は決して安心は出来ない、西洋人はどう見るか、日本は眞似をするけれども何も世界に貢獻してゐないではないかといふ、さうしますならば此の機會に於きまして日本物理化学研究會といふものが出来たことは、是は敢前理學部長が言はれるやうに餘り應用とかいふやうなことに重きを置きますといふと基礎的研究が出来ない。理論的研究ばかりに走れば應用が出来ない、處が堀場博士は兩刀使だと思ひます。一面に於て基礎的御研究になり又一面應用的に才能があり近來稀に見る勝れた學者であると敬服にたへないのであります。どうか此の會が十分に繁榮しまして其の使命を果されんことを希望してやまない次第であります。私は堀場先生以外に同窓の御卒業の方々がゐられまして非常に嬉しく又誇を感じる次第であります。さうして特に私に今晚の出席をお許し下さいましたことは櫻井先生が私が大學に参りました當時の理化学の主任でありまして其の當時は物理化学といふものはございませんでしたがさういふ風な講義がありまして、非常に私の感慨深いものは櫻井先生は黙つて黙々としておやりになつて居られた、夫にも拘らず日本の基礎を固め日本の學術を進めて所謂廣い意味に於て國の爲に大いに貢獻せられて居たことを痛感して非常に奥床しく感じて居る次第であります。現在の世に基礎的の學問といふやうなことは餘程困難と思ひますが互に落ちつきまして、さうして應用も必要であります、やはり基礎的研究に於て發展をしまして歐洲諸國に勝を制するやうな時代の來たらんことを希望して已まない次第であります。之を以て私の話を終ります。(拍手)

大澤理事 先刻來から色々お話を承りましたが、少し諸君のお頭を休ます爲に物理化学教室の方で歌が出来て居りますので、若い方が來て居りますから、一つ皆さんにお聴かせを致します。

(合 唱)

(萬歳三唱)

閉會午後九時

(文責記者)